

環境通信 第27号 (12月号)



2024年(令和6年)12月発行(年4回発行)・発行元:大分市環境対策課・地球温暖化対策おいた市民会議

大分市地球温暖化対策実行計画が新しくなりました!

2024年9月に改定した「大分市地球温暖化対策実行計画」を、アスマるくんがみらいさんへ紹介するようです。その様子をのぞいてみましょう。



みらいさん

…環境問題に関心がある社会人

登場人物



アスマるくん

…大分市地球温暖化防止キャラクター
「地球(アース)の明日(あす)をまもる」ため、
大分市にやってきた。環境問題や地球温暖化対策にくわしい



「大分市地球温暖化対策実行計画」には、大分市が取り組む地球温暖化対策が書かれているんですね!



そうですね!

大分市では、2020年時点で温室効果ガス排出量を、2013年度比17.0%削減し、第3期計画の中期目標(2030年度)である14.5%を既に達成することができたよ。

でも、大分市は2021年4月に「2050年ゼロカーボンシティ」を表明していて、カーボンニュートラルの達成に向けて、より一層の取組が求められているんだ。

このような中、国の新たな方針と歩調を合わせ、大分市の実行計画の見直しを行ったんだ。

今回どんなことが新しくなったんでしょうか?



改正のポイントは2つだよ。



改正のポイント

- ①温室効果ガス排出量の削減目標を、大分市全体と特定事業所*で分けて設定した。
- ②再生可能エネルギーの導入目標を定めた。

*温室効果ガス排出量の大きい事業所のうち、製造業等の大規模事業所

計画期間	7年間(2024~2030年度)
中期目標年	2030年
長期目標年	2050年

中期目標

- ・大分市全体(特定事業所を除く)については、①2030年度までに2013年度比50%以上削減、②再生可能エネルギーは2030年度までに2,831TJ導入。
- ・特定事業所については、①2030年度までに2013年度比30%削減。

長期目標

- ・大分市全体(特定事業所を除く)は、①2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ(カーボンニュートラル)を達成、②再生可能エネルギーについては、2050年までに8,266TJ導入。
- ・特定事業所については、①2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ(カーボンニュートラル)を達成。



この新しい計画は、これから7年間、市民・事業者(企業)・行政が、みんなで力を合わせて取り組んでいく計画なんだよ。

どのような取組を行っていくのでしょうか。



取組の方針を、下の表にまとめたよ。

地球温暖化対策(緩和策)の6つの柱

1	省エネルギー対策の推進
2	交通・物流の脱炭素化の推進
3	4Rの推進による循環型社会の構築
4	再生可能エネルギー等の利活用の促進
5	地域資源の保全・活用の推進
6	環境教育・多様な主体との連携

地球温暖化対策(適応策)の3つの柱

1	気候変動の影響による被害の防止・軽減
2	自然環境の保全と地域強靱化
3	社会や経済の健全な発展

裏面に
つづく!



大分市の地球温暖化対策、9つの柱を見てみよう！

「緩和策」とは、温室効果ガスを減らす対策のこと、
「適応策」とは、温暖化による悪影響に備える対策のことですね！



◆緩和策6つの柱

基本方針	施策内容	関連する SDGs の目標
方針1 省エネルギー対策の推進	① 省エネルギー行動の実践 ② 省エネルギー機器等の導入促進 ③ 省エネルギー建築の推進	4, 7, 9, 11, 12, 13, 17
方針2 交通・物流の脱炭素化の推進	① 次世代自動車の普及促進 ② 移動の効率化の推進 ③ 公共交通機関等の利用促進・電化の推進 ④ 自転車利用の推進	7, 9, 11, 13, 17
方針3 4R*の推進による循環型社会の構築	① 4Rの推進 ② ごみに関する環境教育による意識向上	2, 4, 11, 12, 13, 14, 17
方針4 再生可能エネルギー等の利活用の促進	① 再生可能エネルギー設備等の導入推進 ② 再生電力への切り替え促進 ③ 水素エネルギー*等の利活用促進	7, 9, 11, 13, 17
方針5 地域資源の保全・活用の推進	① 森林等の適正な管理・整備の推進 ② 緑化の推進 ③ 地域資源の活用	11, 13, 14, 15, 17
方針6 環境教育・多様な主体との連携	① 環境教育・環境学習の充実 ② 連携体制の充実	4, 7, 9, 11, 12, 13, 17

◆適応策3つの柱

基本方針	対応する分野	関連する SDGs の目標
方針1 気候変動の影響による被害の防止・軽減	水環境・水資源 健康 国民生活・都市生活	3, 11, 13, 15, 17
方針2 自然環境の保全と地域強靱化	自然生態系 自然災害・沿岸域	11, 13, 14, 15, 17
方針3 社会や経済の健全な発展	農業・林業・水産業 産業・経済活動	7, 9, 11, 13, 14, 15, 17

できる限りの緩和策を行っても、過去に排出した温室効果ガスの大気中への蓄積があるから、ある程度の気候変化は避けられないのが現状なんだ。「緩和策」の取組と併せて、変化した気候のもとで悪影響を最小限に抑えるための対策である「適応策」の取組も大切になってくるんだよ。

わたしたちにできること！デコ活～冬の省エネ対策～

一人ひとりが、それぞれの立場で、脱炭素を意識しながら、暮らしを見直すことがとても重要ですね。わたしたちにできる取組を教えてください。



寒い冬は、暖房や給湯などエネルギーの使用が増える季節だから、省エネ対策をすることで、地球にも家計にも優しい暮らしを目指すことができるよ！



冬の暖房時の室温を適切に保つ。（設定温度を1℃低くする）

外気温度6℃の時、エアコン（2.2kW）の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合（使用時間：9時間／日）

省エネ効果（年間）	約1,650円の節約
CO2削減量	25.9kg



こたつの設定温度は低めに。

温度調節を「強」から「中」に下げた場合（1日5時間使用）

省エネ効果（年間）	約1,520円の節約
CO2削減量	23.9kg



入浴は間隔をあけずに。

2時間の放置により4.5℃低下した湯（200L）を追い焚きする場合（1回/日）

省エネ効果（年間）	約6,190円の節約
CO2削減量	85.7kg



～意外に多いシャワーのお湯～
シャワーを1分間使うと12Lのお湯が流れます。家族4人が4分ずつシャワーを使うと、浴槽1杯分とほぼ同じになります。



×4分×4人 = 1杯分



長時間使用しないときはプラグを抜く。

電気ポットに満タンの水2.2Lを入れ沸騰させ、1.2Lを使用後、6時間保温状態にした場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合の比較

省エネ効果（年間）	約3,330円の節約
CO2削減量	52.4kg

保温は低めの温度に設定したり、省エネモードを利用するのも効果的。



自分のライフスタイルに合わせて、楽しく、無理のない範囲で取り組んでいこう！

【家庭でできる省エネ】・【事業者向け省エネ】の取組についてはこちら

参考：省エネポータルサイト（資源エネルギー庁）
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/index.html

